

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	西東京市芝久保町 5-4-2
園名	西東京市立西原保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

聴く、触る、奏でる

<テーマの設定理由>

生活の中や散歩や戸外に出るときに、友達といろいろな音を探し、どんな音がするのかを創造し友達と共感しながら、身近な物や素材を使い表現することで、感触、振動、音色の違いを知り興味好奇心を広げていく。

2. 活動スケジュール

- 10月16日 生活の中の音(録音した戸外の虫の声や車の音)を皆で聞いてみる。
- 11月5日 散歩に出かけ、自分たちで外の音を探しに行く。
- 11月6日 色々な楽器を鳴らしてみよう
- 11月20日 遠足でいろいろな動物の鳴き声や音などを探してみようみよう
動物の絵を描いてみよう
- 12月4日 お楽しみ会で自分たちで作ったものを小道具にして劇をしよう
お楽しみ会で合奏しよう。新しい楽器をつかって音を楽しもう

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

空き箱、木の実、スズ、タンバリン、ミュージックパット、トライアングル、カスタネット
ボンド、のり、マジック、絵具、くれよん、はさみ、画用紙、折り紙

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・録音した戸外の音をみんなで聞いてみる
- ・散歩などで、どんな音が聞こえるか？その音を自分たちで探してみる。
- ・どんな音があったのか、皆で話してみる。部屋の中でも探してみる。
- ・動物園で動物の鳴き声や行動など観察する
- ・動物園でみてきた動物をクレヨンや絵具で描いてみる
- ・自分で作ったお面や小道具を使ってじぶんで決めた役になりみんなで劇を楽しむ
- ・みんなで楽器を使ってリズムにあわせて歌ったり鳴らしたりを楽しむ

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・まだ暑さ残る戸外の夕方の音を録音し、子どもたちに聞かせてみる。
どんな音が聞こえる？ こおろぎ、鈴虫、みんなみんゼミ、あぶらゼミ、とり、からす、水のおとかな？川の音？(実際は、木々が風で揺れる音が水の音に聞こえた)車のおと。
 - ・みんな色々な音がきこえるね。すごいね。今度お散歩にいったら、色々な音見つけて教えてね。
 - ・木々がいっぱいある公園へお散歩にでかける。
- 録音を聞いた時から少し時間はたっていたが、こどもたちは、覚えていて、耳をすまして周りの音を聞きながら歩いていた。
- ・遠足で動物園にいくと、いろいろな動物の鳴き声や動きなどよく観察していた。
 - ・次の日、なんの動物がかわいかった？と聞くと、トラはかっこよかった。ペリカンが面白かったなど話が止まらなかった。そのまま動物の絵を描いて見ようと子どもたちに伝え、思い思いに描きはじめ、皆楽しそうであった。
 - ・新しい楽器をみて、どうしたら音が出るのか試して遊びながら楽しんでいて。置く位置や音を聞きながら並べ替えて楽しんでいて。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

日常自然の音を録音して、子どもたちに聴かせることが(耳からの情報だけなので)どんな反応が返ってくるのか心配であったが、心配とは逆の反応に大人の方が驚くほど、いろいろなことを知っていて、感性が豊かな事にも気づかされた。

また、その後少し日にちが過ぎてからの、木々が多い散歩地へ行くと、子どもたちから耳をすまして、自然の音を聴いて楽しんでいたことにも驚かされた。

また、新しい楽器はどうしたら音がでるのか、自分たちで試していた。自分たちで工夫する姿も見られた。

